

2025(令和7)年4月吉日

関係各位

跡見学園中学校高等学校
校長 松井 真佐美

「国語1科入試」「算数1科入試」新設について

平素より本校の教育にご理解賜り、誠にありがとうございます。

この度、跡見学園中学校の2026(令和8)年度入試におきまして、標記の入試を新設することとしますのでお知らせいたします。なお、従来の「国語重視型入試」は「国語1科入試」に移行します。

去る2月下旬に行いました本校主催教育関係者対象学校説明会にて第一報としてご案内したところですが、現時点での予定を改めて広くお知らせするものです。受験生の皆様に安心してチャレンジいただけますよう、引き続き情報発信に努めてまいりますので、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

【「国語1科入試」「算数1科入試」新設の背景とねらい】

これまで本校が培ってきた「ことばを大切にする」学びに必要な国語の力を測る「国語重視型入試」を2020(令和2)年度入試から実施してきました。これにより、国語の力はもとより一定以上の算数の力をも備えた入学者を得ることができています。

また、「本物に触れる」ことを重んじてきた本校では、これまでも豊富な実験を通じた体験的な学びを大切にしてきました。加えて今般、理系学部を含めたいくつもの大学と高大連携を進め、理系分野の学問的関心をさらに深めることができる環境が整いつつあります。折しも、併設の跡見学園女子大学では初めての理系学部となる「情報科学芸術学部」を2026(令和8)年度に新設する動きもあり、同大学への優先入学(いわゆる内部進学)者にも理系への道が開かれることとなります。

こうした背景のもと、従来の「国語重視型入試」を「国語1科入試」に発展させつつ、「算数1科入試」によって一定以上の算数の素地とチャレンジ精神を持つ入学者を得ることをねらいとして、「国語1科入試」「算数1科入試」をこのほど新設する次第です。

複雑・多様で予測困難なこれからの時代において、AIとの共存をはじめとするさまざまな課題を解決するために求められるのは、芸術・文系・理系といった学問分野を超えた人間の叡智です。本校が創立者以来受け継ぐ芸術の学びや、「ことばを大切に」する学びはもちろん、サイエンスの分野へも知的好奇心やチャレンジ精神を発揮し、科学的思考をもって課題解決に貢献することができる生徒を育ててまいります。

【「国語1科入試」「算数1科入試」のあらまし】

- (1) いずれも2月2日午後実施「特待入試第2回」として位置づけ、それぞれの合格者のうちから特待生(特典は初年度授業料半額免除)を選抜します。
- (2) 試験時間帯をずらし、いずれか一方または両方を選んで受験することができるようにします。
- (3) 募集人員は「国語1科入試」「算数1科入試」両方を合わせて40名とします。
- (4) 合格判定は、それぞれ1科目の得点によって行います。両方を受験することによる判定上の優遇はありません。
- (5) 入学後の授業カリキュラムは、他の一般入試・特待入試による入学者と同様です。

【2026(令和8)年度 一般入試・特待入試 予定】

	2月1日	2月2日	2月4日	2月5日
午前 定員	一般入試第1回 70名	一般入試第2回 50名	特待入試第3回 (思考力入試・ 英語コミュニケーションスキル入試) 20名	特待入試第4回 20名
午後 定員	特待入試第1回 50名	特待入試第2回 (国語1科入試・ 算数1科入試) 40名	-	-

※ 帰国生入試の期日は2025(令和7)年12月19日を予定しています。

※ 詳細は秋に公表予定の「入学試験要項」にてご確認ください。

以上

(問い合わせ先)
跡見学園中学校高等学校
入試広報室
電話 03-3941-8167 (代表)